



鴻巣西中通信

学 校 だ よ り

鴻巣市立鴻巣西中学校
鴻巣市大間1161番地
令和2年11月2日

第7号

「3年間で一番思い出に残っていること」

～第3学年校長面接から～

校 長 服部幸司

11月の声を聞き、カレンダーも残り2枚、いよいよ3年生も自身の進路について真剣に考える時期に入ってきました。今年度も3年生全員(146名)との校長面接を校長室で行っています。

昨年度同様、身だしなみ・態度、声の大きさ・積極性、言葉遣い、受け答えの内容等を一人7、8分程度で評価し、担任の先生を通じて、本人に返しています。

生徒には、まず志望理由から聞きます。なぜ自分自身の進路として本校を選んだのか。県内外の高等学校の面接官になりきって聞きます。昨年度は、貴校の説明会に参加して…、体験入学を経験して…、文化祭に訪れて…、と多くの生徒が自分の足で稼いだ情報を力強く語っていたのですが、ご承知の通り、今年度は高校の説明会等々が計画通りには行われず、自分の目と肌で感じた情報が少ないことに気付かされます。各高校のパンフレットやホームページから仕入れた情報、卒業した先輩から聞いたこと等を必死に組み立てて話す健気な姿に感心しているところです。



面接終盤には、「あなたは鴻巣西中学校出身ということですが3年間で一番思い出に残っているのはどんなことですか？」と聞きます。昨年度は「1位 修学旅行」、「2位 スキー林間」、「3位 強歩大会、体育祭、合唱祭」でしたが、今年度は「1位 日常の学校生活」、「2位 体育祭、合唱祭、強歩大会、スキー林間」です。例年3年生の6、7月に実施していた「修学旅行」は、今年度の3年生にはありません。改めて申し訳ない気持ちになりますが、生徒は生き生きと語ります。「皆で力を合わせて勝ち取った学年1位や西中プライドソーランを躍(おど)れたことは最高でした。」「合唱に対する意欲の違いからぶつかり合いながらも、本番では皆で一生懸命歌い、優秀賞をとれたことが印象に残っています」「熊谷から鴻巣西中まで15km、変わる景色を楽しみながら先生方・保護者の方々の応援と見守りを受け、走ることができるのは西中だけだと思います。」「初めてスキーをやったのですが、2日目には滑れるようになり、3日目はどんどん滑れるようになりました。」「…そして、今年度、多くの生徒が語ったのが「日常の1日1日の学校生活です。友達との何気ない会話や1時間1時間の授業を皆と一緒に受けたことです。」ということです。

長い長い一斉休校等を経験しながらも明るい笑顔でそれぞれの思い出の場面を語る姿に、改めて学校行事の大切さ、いや「対面教育」の大切さを再認識しているところです。これからも教職員の英知を結集し、力強く教育活動を展開していきます。